



博士後期課程  
ディプロマ・  
ポリシー

DP1  
知識  
理解

○ 社会の変化に対応した看護を推進するために、経験知から新たな理論知を創出し、看護実践と研究の連続的なスパイラルの中で思考・実践できる研究能力を有している。現任教育や看護学実習教育を担うことのできる教育研究能力を有している。

DP2  
技能  
表現

○ 看護学の発展に貢献するために、研究結果を学術集会や社会活動に発信し、それらの成果を実践の場に伝えることができる発信力と教育能力を身につけている。

DP3  
思考  
判断

○ 社会の変化に対応した看護を推進するために、経験知から新たな理論知を創出し、看護実践、看護教育と研究の連続的なスパイラルの中で思考に基づいて解決する方法を見出すことができる。

DP4  
態度  
志向性

○ より幅広い視野で見識を深め、統合力・連携力・創造力と看護職のアイデンティティを基盤として、教育研究活動を個人の志向により自立して実践することができる。

DP5  
多職種間  
連携能力

○ より幅広い視野で見識を深め、統合力・連携力・創造力と看護職のアイデンティティを基盤として、教育研究活動を個人の志向により自立して実践することができる。